

第3学年 道徳科 学習指導案

授業者 丸岡慎弥(立命館小学校)

1, 日時 2024年10月5日(土)公開授業②10:00~10:45

2, 学年・組 3年1組

3, 場所 兵庫教育大学附属小学校 3年1組 教室

4, 主題名 よいと思ったことは

5, ねらい よわむし太郎が、殿様から白い鳥を守る姿などを通して、よいと思ったことを行うときに大切な心やその根底にある価値について考え、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする心情を育てる。

6, 教材名 よわむし太郎(光村図書出版3年)

7, 主題設定の理由

(1)道徳的価値について

本授業で扱う価値は、「善悪の判断」である。善悪の判断を行うためには、「(善悪に基づいた)道徳的判断力」はもちろん、それを支える「自己信頼」が大切であると考えられる。私たちは日々、生きる上で大なり小なり様々な場面で選択を迫られる。その選択は社会的に総合的に求められることと自分自身の中にある大切にしたい価値が総合されて決定されていくものと思われる。

また、それらの判断基準は、これまでの経験や環境、他人との関わりによって形成される一面もある。時には自分の状況や感情が流れ、自分の信念を捉え直すことも少なくない。こうした経験を積み重ねることで、自分の生きる上で困難と思える状況に出会っても、自分の判断を信じ、行動に移す強い意志を持つことができるようになるだろう。

特に、中学年という発達段階は、だんだんと自己形成されつつ、外部の影響も受けやすい時期であるといえる。この時期に、自分の判断を尊重し、それを行動に移すことの重要性や、自分を信じることの意義を考えることは、よりよく生きるためにつながるものになると考える。

(2)児童観

略

(3)教材観

本教材は、自己の信念を貫く強さや他者への思いやりなどを善悪の判断として思慮したり行動したりする心を育むきっかけとなると捉えている。

物語に登場する太郎は、村の子どもたちと一緒に大切にしていた白い鳥を守るため、殿様という強大な権力者に対しても恐れず立ち向かった。太郎が涙を流しながらも、自分が正しいと信じることを行動に移し、最後までその思いを貫いた姿は、本授業で扱う道徳的な価値を深く考えさせる題材になると考える。

この物語を教材とすることで、児童たちは単に「善悪の判断」を考えることはもちろん、どのような立場の相手に対しても自らの信念を持ち、それを行動に移すことのできるよさを実感できるだろう。また、太郎が自分だけではなく、他者のために行動する姿勢から、思いやりや自分の信念をもとにした善悪の判断を考えることのできる教材になると考える。

(4)指導観

教材観に示した通り、本授業で本教材を学ぶよさは「自分が正しいと思うことを行動にうつす」という行為にある心情や考え、価値について考えることのできることである。学習者である児童は、自分

たちと価値観や経験とつなげながら、太郎の姿を通して「正しいと思うことを行動にすることのよさ」について疑似体験したり自分のこれからの生き方につなげたりするだろう。

しかし、そのような学習へにつなぐためには授業者として学習環境を整えたり思考体験をするための発問が必要となる。そのような工夫がなければ、太郎の心情を多面的多角的に考えたり太郎の中にある価値に迫ったりすることはむずかしいと思われる。

そこで、以下のような授業者として3つの工夫を行う。

①導入段階で自分の考えを自覚化につなげるため思考するため心情メーターを活用する

導入段階では児童に自分の経験とつないで本時の課題をとらえてほしい。そこで、発問を提示した後的心情メーターを活用して自分の考えを表現し、自分の考えへの自覚化をねらう。また、自覚することで自分のこれまでの経験とつなげて考えることができると思われる。

それぞれの考えを聞くことで「正しいと思うことを行動する(できる)」という意見と「正しいと分かっているけれども行動することができないことがある」という意見が表出されると思われる。そのズレから、本時の学習課題を設定したい。

②学習者と教材との出会いを活かす

範読の際には、学習者の気付きや問いを活かすことができるようにしたい。そこで、教材を読んで心が動いたと思うところに線を引き、どのように心が動いたのかを記号で表現するという活動を取り入れる。学習者が使用する記号として「○(よい)」「×(よくない)」「△(わからない)」「◎(共感)」の4種類を扱うことを基本とする。

学習者は教材との出会いを通して様々な思考体験をしている。その思考を表現するために記号を用いる。範読の後には学習者の思考体験を全体交流する。全体で交流することを通して、学習者の発言を構造的な板書を通して、教材の中でさらに思考を深めていくべきポイントが生み出されるように学習の場をつくっていききたい。

③太郎の心情や考えを探るために役割演技とフープを活用する。

学習者と教材について語り合うことで「太郎はどうして殿様の前に立ち続けたのか」という学習課題が生まれるものと推測している。そのような学習課題が生まれた時には

・との様の前に立つ太郎のマイナス的要素(怖い、弓矢をうたれたら...など)

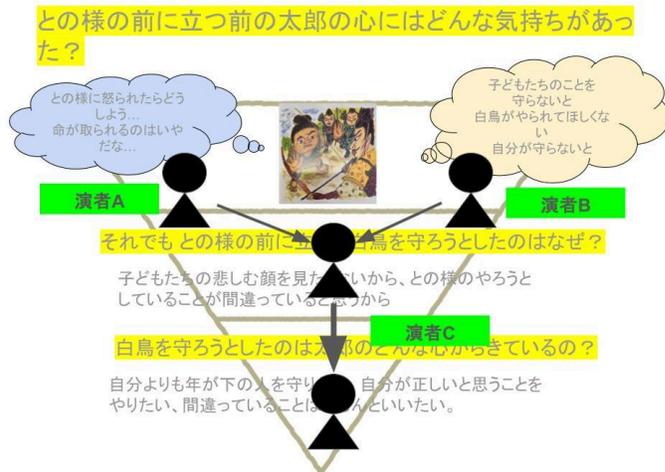
・との様の前に立つ太郎のプラス的要素(白鳥を守りたい、自分しかいない、など)

の2つの心情、さらにはそれらを心情をふまえ「との様の前に立ち続ける」と決めた太郎の行動を思考するために「3人の太郎」を役割演技することとする。また、それぞれの太郎はどのような太郎の役割なのかを明確化するためにフープを準備する。ひとりの太郎が移動しつつ太郎の考えや価値について迫りたい。

④太郎の心情や考えがなぜ生まれたのか、ウェルビーイングカードを活用して考える

さらに、学習者が生み出した太郎の考えがどのような価値から生まれているのかを思考するために「[ウェルビーイングカード](#)」を活用する。※ウェルビーイングカードの詳しい説明は[こちら](#)。学習者は発達段階を踏まえると「太郎の考えと関連する価値」について言語化することはむずかしいだろうと判断する。そのため、「カードを選ぶ→理由を考える」という学習に取り組むことで、価値に迫ることもできると考える。

学習の場は、次のような場づくりを想定している。



演者と全体を巻き込みながら議論を深めることができるようファシリテートしていきたい。

8, 本時の展開

	学習内容	○主な発問など・予想される児童の思考	学習上の留意点
導入	1, 「自分が正しい」と思うことを行動することができるかについて考える。 議論を通して「正しいことを伝える心ってなんだろう？」という疑問を持つ。	○正しくないことをしている人を見たら正しいことを伝えられますか？ ・年上だったら無理かな... ・知らない人には伝えずらい ・伝えた時にいやなことを言われたことがあるから... ・自分は気にせず伝えられるよ	・事例をいくつか紹介してから考える場を設けるようにする。 ・心情メーターを活用し、自分の考えを表現する手がかりとする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>どうして勇気をもって正しいことを伝えるのだろう？</p> </div>			
展開	2, 範読を聞き、心が動いたところなどを交流する。 3, 共通の思考課題を設定し、太郎の行動や心情、価値について考える。	○どこでどのように心が動きましたか？ ・子どもにはやし立てられても怒らない太郎はすごい。 ・村からよわむし太郎という名前が消えたのがいい。 ・殿様の前に立ち続けた太郎がすごい ○太郎は殿様の前に立っている時どんな気持ちを持っていたのだろう？ 【人間理解】 ・弓で打たれたらどうしよう ・自分の命がやっぱり1番... 【価値理解】 ・子どもたちのために白鳥を守らないと	・心の動きを記号で表現するように伝える。 ・殿様の前に立ち続けた太郎の行動を取り上げる。 ・葛藤する太郎の2つの心、さらに太郎自身を役割演技を通して探るようにする。 ・フープを用意し、どのような心を演じているのか視覚的に理解で

		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの悲しむ姿をみたくない ○それでも殿様の前に立ち続けたのはどうしてなのだろうか？ ・もし立たなかったら悲しい ・みんなが悲しむのはいやだ ○太郎のこのような考えや気持ちはどんな価値から生まれているんだろう。 ・認め合いじゃないかな。殿様とも認め合いたいと思っていると思う。 ・愛じゃないかな。愛がないとこんなことはできない。 ・感謝じゃないかな。この出来事を通して自分自身に感謝することになると思うから。 	<p>きるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイングカードを活用する。
終末	4, 学んだことをふり返し、自己への生き方へ活かす。	<ul style="list-style-type: none"> ○太郎の姿や心を考えて、自分はどんなことを大切にしていきたいと思いますか？ ・勇気をもって注意をすることの大切さ ・自分の正しいと思うことを行動することはカッコいいと思うから、そんなことを大切にしたい。 ・自分も太郎のように強い人になりたいと思った。 	

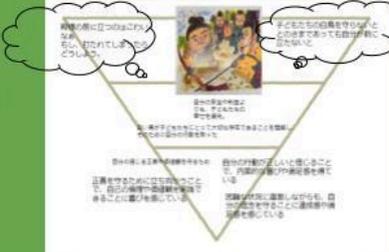
9、板書計画

10月5日(土)

自分が正しいと思うことをどれだけ伝えたり行動したりすることができますか？



よわむし太郎



子どもたちがいじめていてひどい

どうして太郎は何も言わない？

太郎の行動と心を考えて、自分はどんなことを大切にしていきたいと思いますか？

との様えらそう

最後によわむし太郎と言われなくてよかった。